

加圧注入用木材防腐・防蟻剤

(社)日本木材保存協会
認定番号A-5339

リグノケア **LC-350**

(財)日本住宅・木材技術センター
優良木質建材認証(AQ)薬剤

JIS K 1570(木材保存剤)
銅・アゾール化合物系木材保存剤
(登録名CUAZ-3)

リグノケアは(株)エス・ディー・エスバイオテックの登録商標です。

■有効成分(A剤):銅化合物……………11.6%以上(酸化第二銅として)
シプロコナゾール……………0.13%以上

木材を大切に使うための
環境にやさしい薬剤、
それがリグノケアLC-350です。

『木を生かした生活環境』
自然を愛する日本の心を応援します!

FTS フマキラー・トータルシステム株式会社

■ 薬剤の優れた特長

- 安全で長い使用実績のある銅化合物と、安全性と防腐性に優れていることを理由に近年、急速に使用例が拡大している抗菌剤(シプロコナール)を配合しており、効力と安全性を両立しております。
- 更に、定着助剤として木材由来の天然系成分(リグニンスルホン酸)を配合。
- リグニンスルホン酸は、有効成分と共に酵素の力で定着・固定されます。
- 毒物及び劇物取締法の普通物相当。消防法に非該当。
- 有害な元素(ヒ素、クロム)、ほう素、有害VOC(ホルムアルデヒド、クロルピリホス)を含みません。
- 環境ホルモン作用、シックハウス症候群の疑いのある化合物を含みません。
- 日本の厳しい安全基準・品質基準に基づいて製造された国産製剤です。

■ 処理木材の特長

- 環境にやさしく、効果に優れた保存処理木材です。
- 落ち着いたモスグリーン系の色です。
- ベタツキ、特有の臭気、鮮やかな着色もありません。

■ リグノケアLC-350の使用方法

①製品構成

A剤(50重量部):有効成分とリグニンスルホン酸塩
B剤(1重量部):リグニンスルホン酸重合触媒(天然酵素)及び消泡剤の2剤の構成。

②使用方法

A剤を水で希釈し、ここにB剤をA剤の50分の1重量部加えて使用。
30%以下を基準として含水率を調整した木材に対して、JIS A 9002に従って木材処理を行う。

種別	希釈倍率の目安	吸収量設定(有効成分)
AQ2種 (JAS-K3相当)	45倍*	1kg/m ³
AQ1種 (JAS-K4相当)	35倍	2kg/m ³

*45倍希釈の木材処理液(作業液)での水生生物毒性値:
・コイ LC50(96時間) 270ppm、
・ミジンコ LC50(3時間) 10,000ppm、EC50(48時間) 31ppm

⚠ 処理木材における注意事項

【薬剤成分】

リグノケアLC-350剤の成分は、木材内部で効果的に定着・固定されますが、法的な規制、水生生物毒性の両面で、銅の溶脱に最も留意する必要があります。

銅には、水質汚濁防止法での排水基準(3 ppm未満)、水道法・食品衛生法(1ppm以下)の規定があります。

処理木材の表面に付着した薬剤が、処理木材使用の初期に雨水等により溶脱・流亡する以外は、薬剤成分は木材中に良好に保持されております。従って、閉鎖水系に多量の処理木材を設置する場合以外には、環境への影響は僅かなものと予測されます。

【溶出した銅の挙動(予測)】

●水系での挙動: 溶出後に希釈された微量の銅は、河川、湖沼等においては、水系に含まれる塩類・有機物により、難水溶性の銅塩形成・吸着を受けるものと推測されます。その後、河川、湖沼の底面土壤に吸着され、天然にも存在する各種の銅化合物と同様の運命をたどるものと推測されます。

●土壌系での挙動: 農業で殺菌用途に大量に散布される銅系農薬で

の知見から、処理木材から溶脱した僅かな量の銅も、植物分解物等に吸着した形で安定に存在し、土壌表層に留まるため、土壌下層への到達の可能性は低いものと推察されます。

【より安全に処理木材をご使用頂くために】

万一、閉鎖水系の水生生物への影響を懸念する場合には、処理木材の表面を簡単に水洗の後、施工することをお勧めいたします。

処理木材の廃棄には焼却処理が適しております。焼却処分した場合、有効成分である銅化合物は、焼却灰中に酸化銅(CuO)として残存します。酸化銅は毒性の低い一般物として扱われており、通常の雨水への暴露では焼却灰からの銅の溶出はありませんが、信頼できる産業廃棄物処理業者に焼却灰の処理を委託する配慮が必要です。処理木材を大量に廃棄する際には、本処理木材の製造業者に、具体的な廃棄方法をお問い合わせ下さい。

【処理木材の焼却時の発生ガス成分について】

処理木材を焼却する際に発生するガス成分について、外部機関による分析の結果、通常の無処理木材と同じガス成分であることが証明されております。

販売元: **FTS** フマキラー・トータルシステム株式会社

〒101-0038 東京都千代田区神田美倉町11
TEL.03-5297-8545

製造元: **ADA** 株式会社 **イスター・イース バイオテック**

〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目1番5号
TEL.03-5825-5522